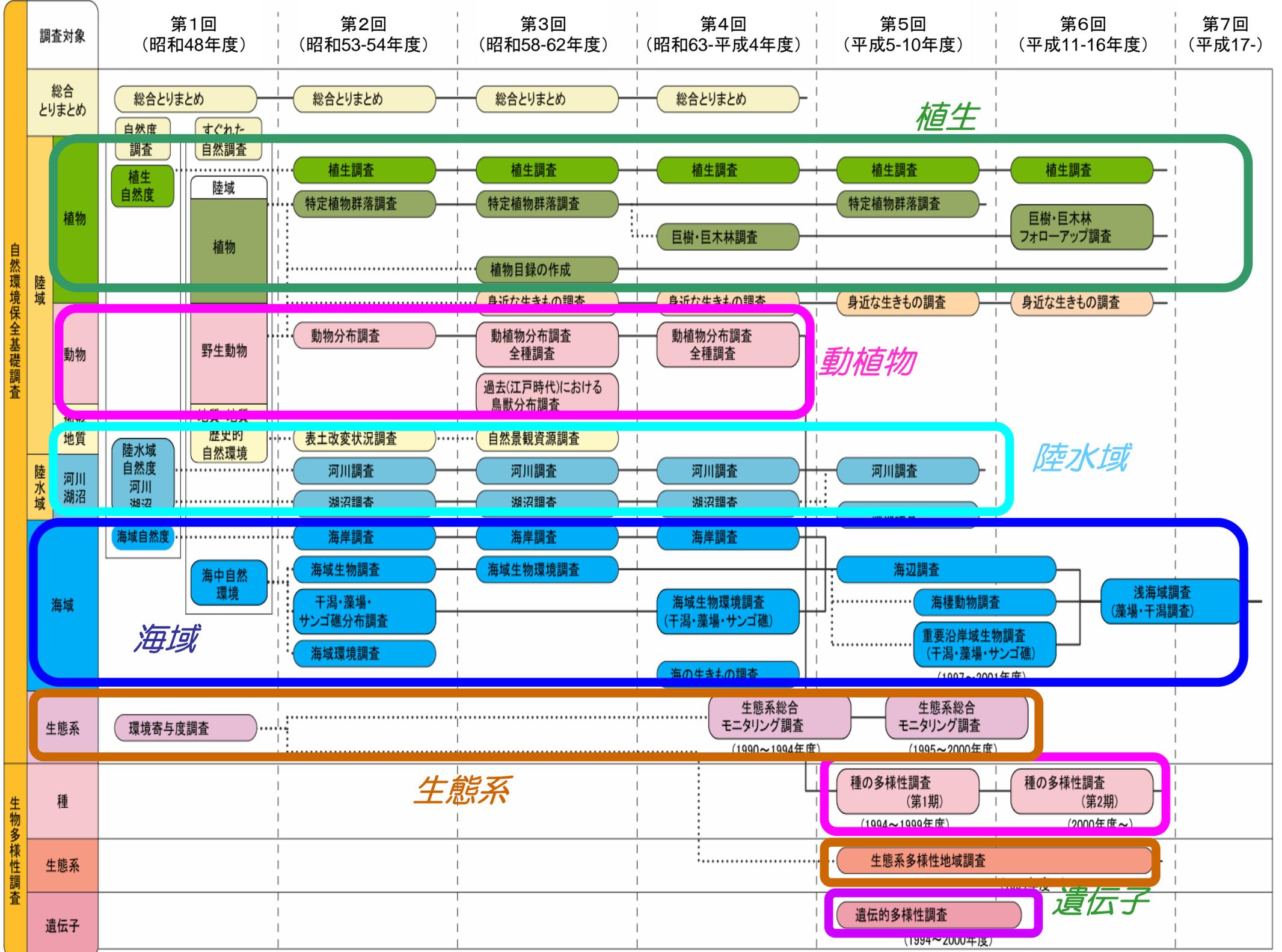




# 自然環境保全基礎調査とは

- 緑の国勢調査
- 根拠：自然環境保全法第4条
- 昭和48年から概ね5年毎に実施
- 日本全体の自然環境の状況を調査
- 平成17年～ 第7回調査を実施中



# 自然環境保全基礎調査における 今後のALOSデータの利活用について

高精度のデータを  
高頻度取得可能

## (1) 植生調査への利用

- ・ 衛星画像を利用した植生判読手法の開発・導入により、全国植生図の整備を大幅に効率化
- ・ よりおおまかな植生区分による相観植生図の作成・更新

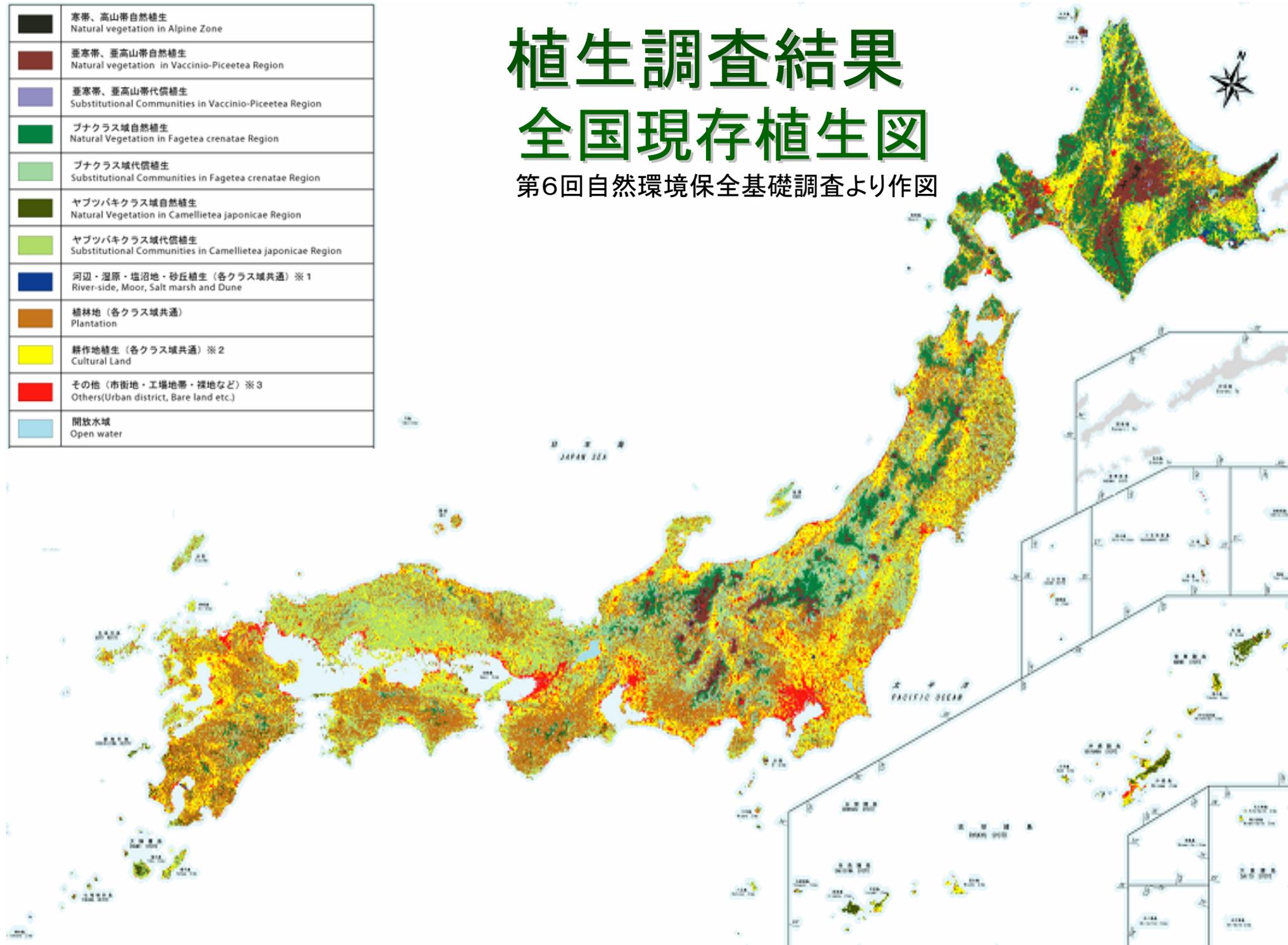
## (2) 湿地調査等への利用

- ・ 湿原等の改変状況を迅速に把握 など

	寒帯、高山帯自然植生 Natural vegetation in Alpine Zone
	亜寒帯、亜高山帯自然植生 Natural vegetation in Vaccinio-Piceetea Region
	亜寒帯、亜高山帯代償植生 Substitutional Communities in Vaccinio-Piceetea Region
	ブナクラス域自然植生 Natural Vegetation in Fagetea crenatae Region
	ブナクラス域代償植生 Substitutional Communities in Fagetea crenatae Region
	ヤブツバキクラス域自然植生 Natural Vegetation in Camellietea japonicae Region
	ヤブツバキクラス域代償植生 Substitutional Communities in Camellietea japonicae Region
	河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生（各クラス域共通）※1 River-side, Moor, Salt marsh and Dune
	植林地（各クラス域共通） Plantation
	耕作地植生（各クラス域共通）※2 Cultural Land
	その他（市街地・工場地帯・裸地など）※3 Others(Urban district, Bare land etc.)
	開放水域 Open water

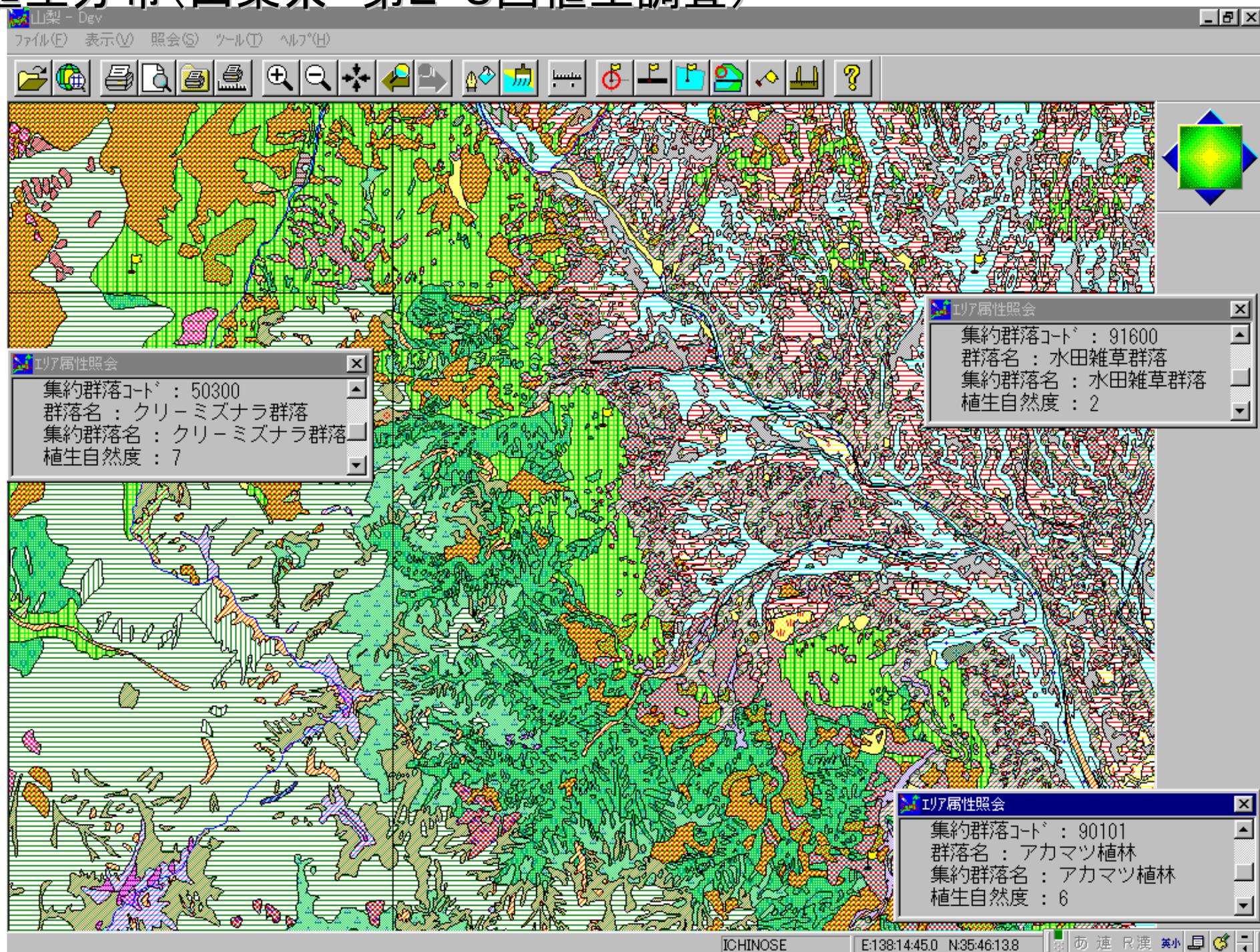
# 植生調査結果 全国現存植生図

第6回自然環境保全基礎調査より作図



# 自然環境情報GIS CD-ROM(第2版)

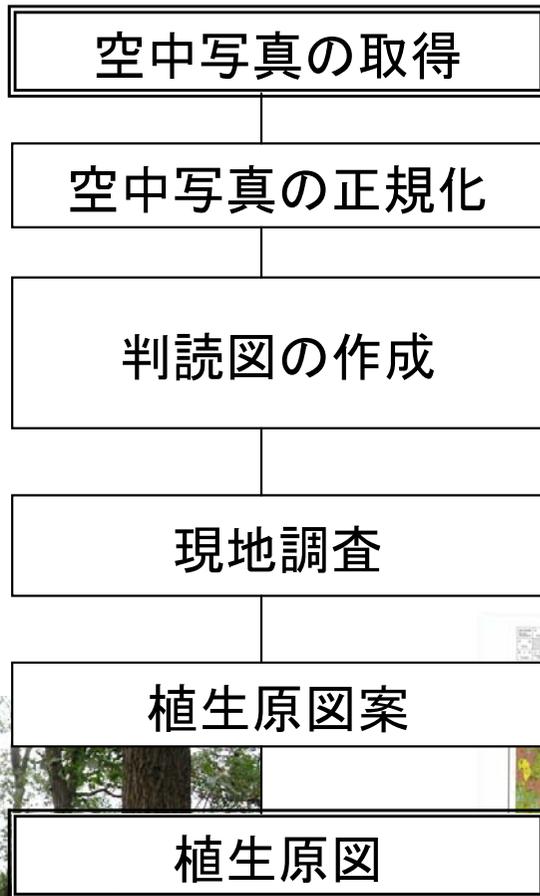
## 植生分布(山梨県 第2・3回植生調査)



# (1) 植生調査への利用

## 従来の植生図作成手法

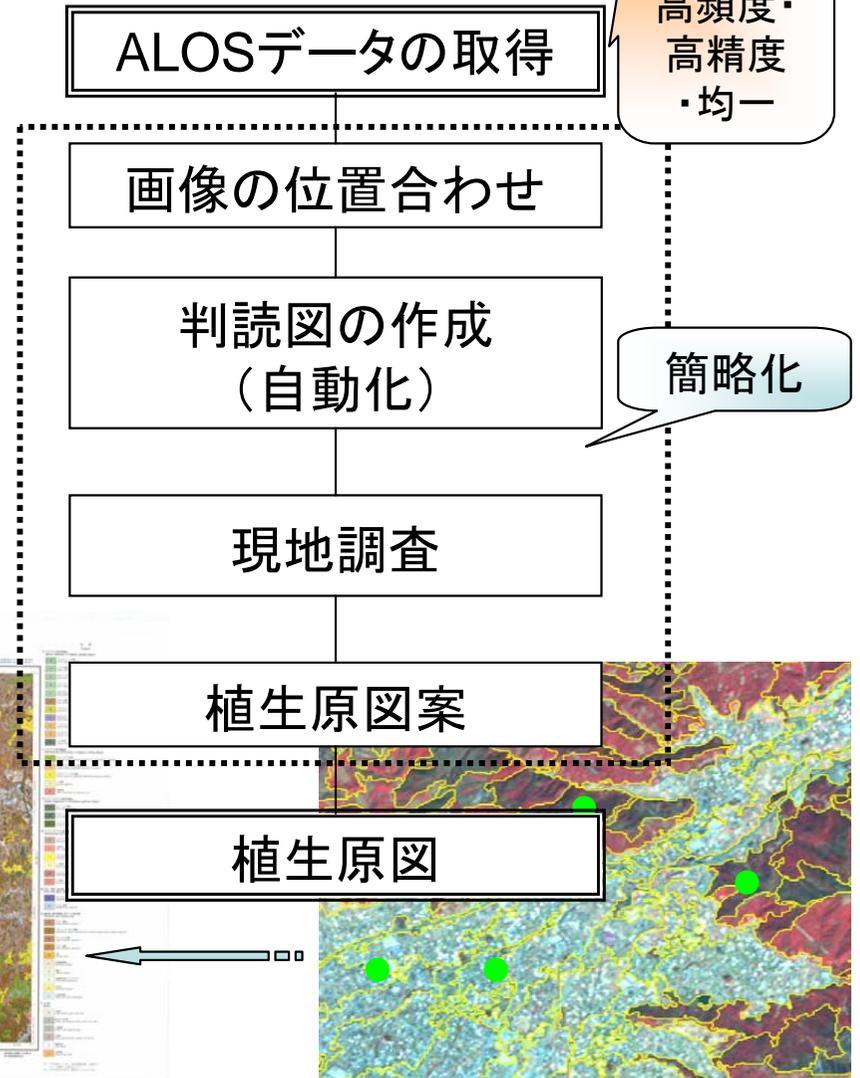
多大な労力・  
時間・経費が  
必要



作業の  
大幅な効率化

## 衛星画像を利用した 植生図作成手法

高頻度・  
高精度  
・均一



縮尺: 1/25,000

# 衛星データを用いた市街地における解析事例

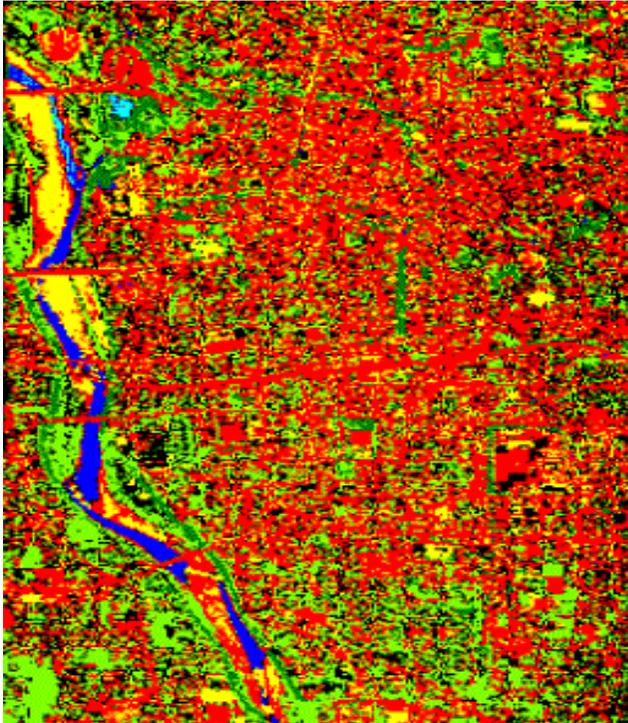
■分類に使用した画像  
(ALOSシュミレーションデータ)



0 1km

植生の生育している部分  
は赤く表示されている

■分類結果



0 1km

市街地における  
緑地を抽出した  
事例

- コンクリート
- 裸地
- 植生-1
- 植生-2
- 池
- 河川

# 自然林における解析事例

衛星画像(落葉後～展葉前)

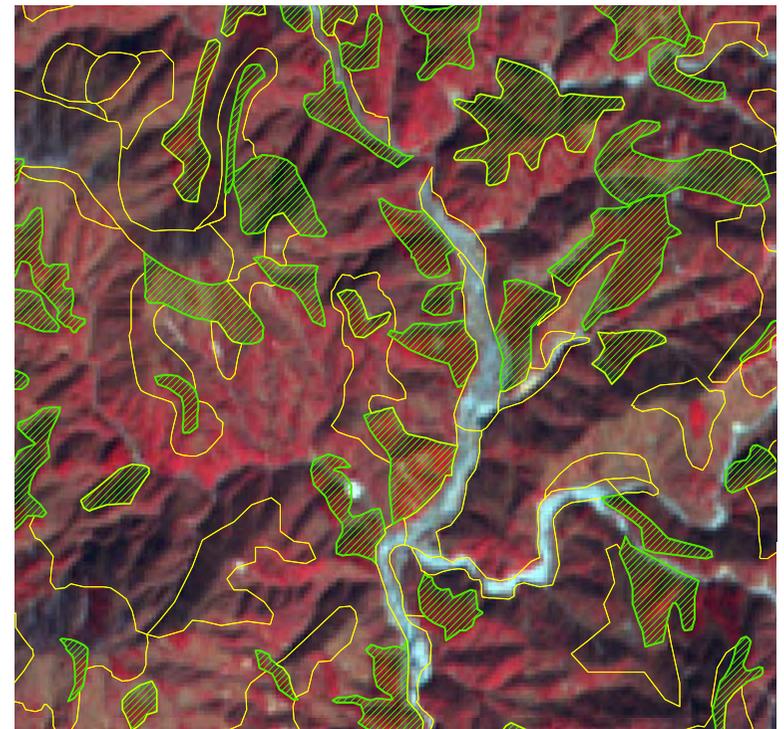
常緑樹(植林地が多い)を  
網掛けで表示



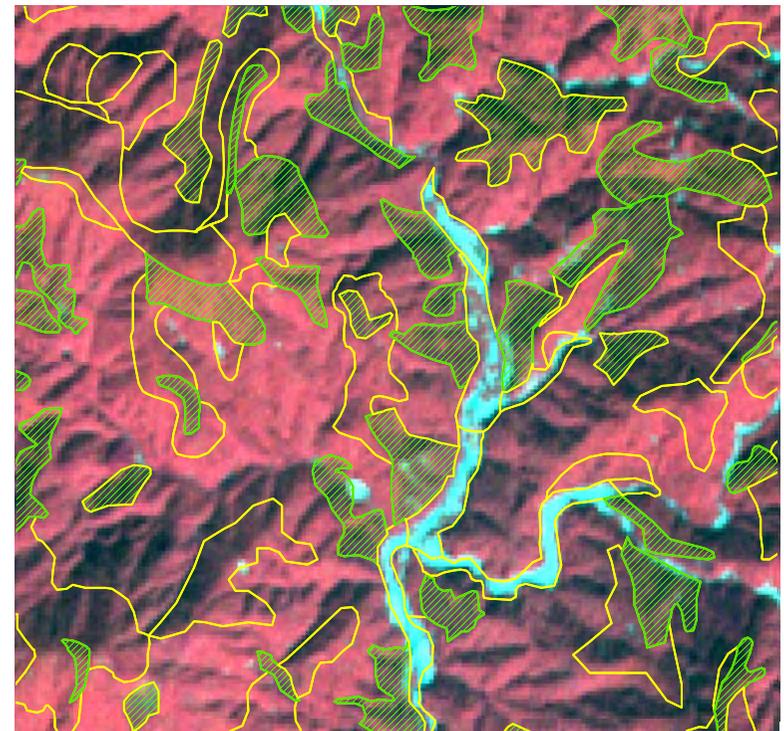
第6回植生図

落葉後～展葉前の衛星画像の利用により、  
落葉樹と常緑樹(植林地が多い)の区分が可能。

衛星画像はASTER(解像度15m)のデータを使用



衛星画像(展葉後)

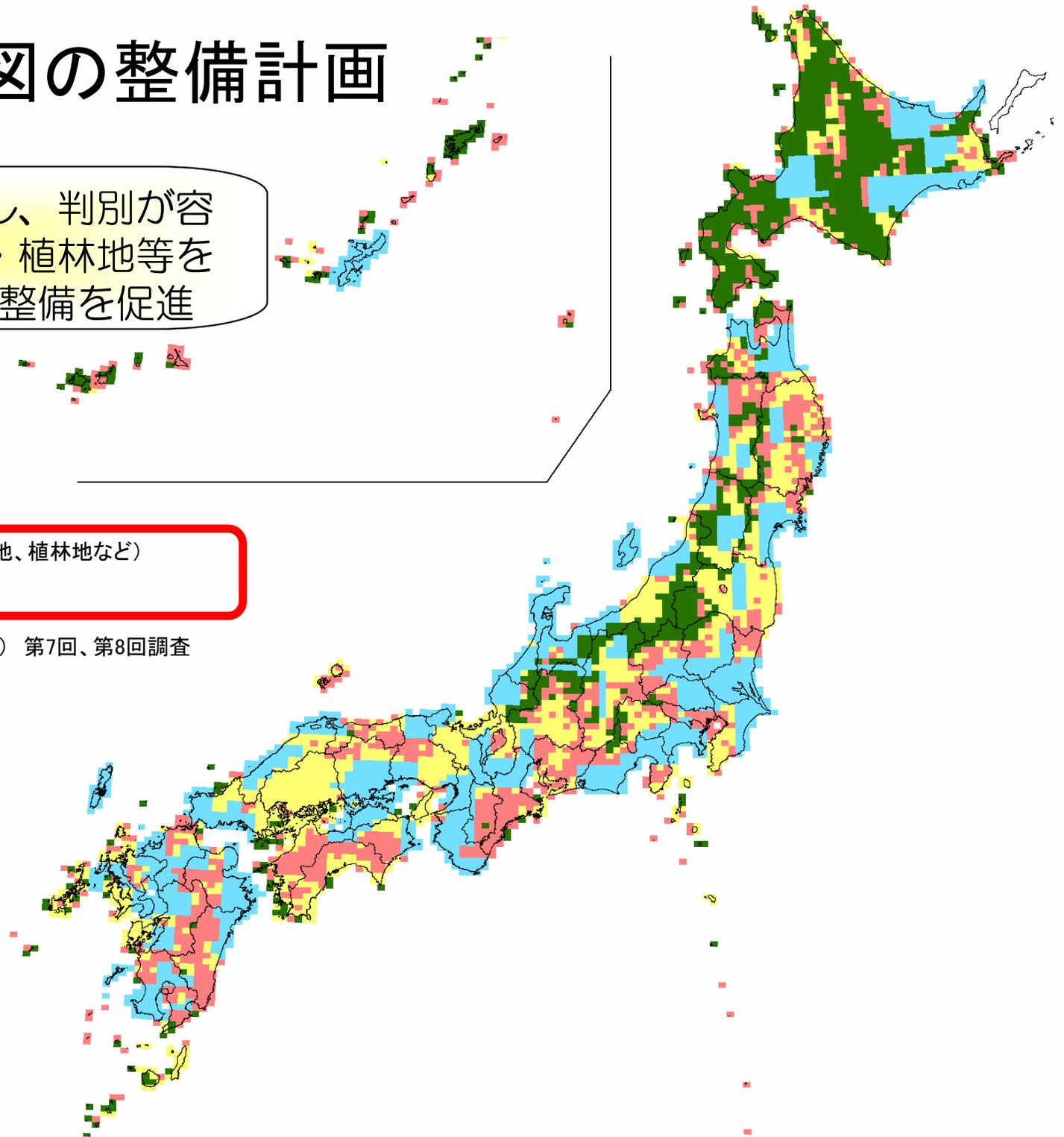


# 全国植生図の整備計画

衛星データを活用し、判別が容易な市街地・農地・植林地等を主に含む地域での整備を促進

## 凡例

- 植生図作成済み図幅
- 第1期衛星画像図幅(市街地、農地、植林地など)
- 第2期衛星画像図幅(里地)
- 従来手法図幅(自然林、自然草原) 第7回、第8回調査



## (2) 湿地調査などへの利用

例えば・・・ 湿原の面積変化を迅速に把握  
など

陸域における主な湿地分布図  
(第5回自然環境保全基礎調査(湿地調査)結果)

